クリーンバキュームCV-1,CS-1のモーター交換要領

2022/12/26

クリーンバキュームCV-1,CS-1は、標準でモーターSDW600MまたはTPSDW600Mが実装されていましたが、
2022年12月以降、修理・標準で実装するモーターをML1060BSに変更いたしました。性能自体は同等のものとなります。
修理でモーター交換をする際に、コントローラーのヒューズ交換も必要です。

※注意：クリーンバキュームCV-1については2011年から製造したものを対象としております。
2010年以前製造のもの（製造番号下4桁が3615以下）に対しては、
取付の互換性がありませんのでモーターの販売を終了しております。

＜変更前＞

① SDWモーターアセンブリー
- モーター：SDW600MまたはTPSDW600M
- 取付け板（鉄板）
- シールゴム板

② ヒューズ7A（コントローラー）

＜変更後＞

切欠き

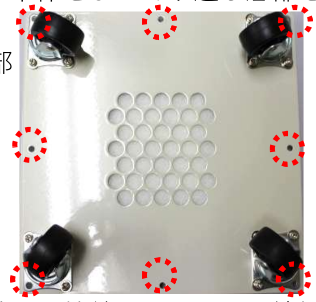
① MLモーターアセンブリー
- モーター：ML1060BS
- 取付け板（鉄板）
- シールゴム板

② ヒューズ10A（コントローラー）

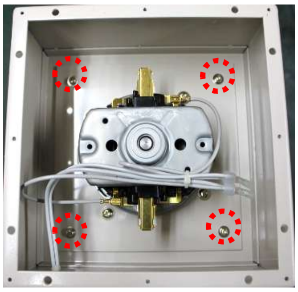
＜交換手順＞

① バキューム本体の電源プラグをコンセントから外し、中の紙パックを取り外します。
② バキューム本体をひっくり返し底部を上にしてから、底板の四隅（と四辺）のネジを緩めて底板を取外します。

底部



内部



注）
CV-1の場合の画像です。
CS-1の場合は、まずは筐体とアクリルBOXを分離して頂き、筐体側の方にて同じ流れで交換できます。

③ モーター端子に接続されている配線側の平端子を抜き、配線をまとめている束線抑えも外します。
④ 取付け板の四隅のネジ(M4×10mm)を外し、モーターを取り出します。
⑤ 内部が汚れている場合、研磨材、石膏粉等を掃除機で取り除き、清掃します。
⑥ 新しいモーターを挿入し、四隅のボルトを締め付けます。
　切欠き位置の方向は任意です。
⑦ モーター端子（2ヶ所）に配線側の平端子（メス）を挿入し、
　配線をタイラップ等で束ねます。
⑧ 底板を元のようにネジで固定します。
⑨ コントローラーのヒューズを7A→10Aに交換します。
⑩ 紙パックを入れ、電源を投入し、正常に動作することを確認します。
⑪ シール「MLシリーズモーター使用～」を後面下部などに貼付けます。

＜注意事項・その他＞

- モーターのパワーが大きくなりますので、以前よりボリュームを少し下げて使用してください。
- MLシリーズモーターへ交換後、コントローラーを変更する場合、ヒューズ交換が必要になります。
  ※新規購入分は対応済みなので不要です。
- MLシリーズモーターへ交換後のカーボンブラシ交換については、
  注文の際に「MLシリーズ用」,「MLモーター用」等の記載を添えて指定してください。
  ※カーボンブラシは以前までのものと互換性はありません。
  　現在、変更前のモーターに対してのカーボンブラシ販売は継続中ですので
  　「MLシリーズ用」,「MLモーター用」等の"指定の記載が無い場合の"注文を受け取った際は、
  　変更前のモーター用のカーボンブラシの注文として判断させて頂いております。

アウス株式会社